

八雲

第60号
(令和5年10月発行)

大東高校校歌

1. 勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし
2. 夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕づつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手を取りていざ共に哭け
3. 理想の洋は遥かなり
真理の道の遠ければ
あゝカルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
4. 東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



為せば成る

=チャンスを活かして魅力ある大東高等学校に =

八雲会会長 土 江 博 昭

「為せば成る 為さねばならぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

これは、江戸中・後期の米沢藩主、上杉鷹山の言葉です。人が何かを成し遂げようという意志をもって行動すれば、何事も達成に向かい、ただ待っていて、何も行動を起こさなければ、よい結果には結びつかない。と、すぐにあきらめないことの大切さを説いています。私は、この言葉を座右の銘としていますが、思いはあっても、なかなか実現に結び付かない現状があることも実感しています。

さて、八雲会の会長に就任してから早や、4年が過ぎようとしています。この間、直面した大きな課題は、大東高等学校の生徒数の減少でした。少子化の波にのまれ、雲南市内の子どもたちの人数が減少している状況の中では、致し方がないというあきらめの気持ちもありましたが、「何とかしなければ!」という思いから八雲会としてできることを模索し、各支部の皆様と共に取組を進めています。

具体的には、令和4年12月17日(土)に大東高等学校の魅力化を考えるフォーラムを開催し、「中高校生がもっと通いたいと思う大東高等学校」をテーマに、参加者で話し合いを行いました。この中で、大東高校の魅力化には、部活動の充実が取り上げられ、寮の完備や指導者の公募、中高の連携の重要性、特色ある部活動の開設など熱心な議論が展開されました。

また、他校との差別化を図るために、探究学習の充実とか、学校生活の様子や卒業後の姿等をPRし、発信していくことの必要性等が提案されました。

一方、令和4年4月に発足した大東高等学校の学校運営協議会(コミュニティスクール)でも生徒数減少の課題を議題とし議論を重ねていきまし

た。小さな一歩がやがて大きな一歩につながると信じて取り組みを進めていますが、依然、生徒数は減少の一途をたどり、令和5年度の入学生は、令和4年度よりも更に、9名減り68名となりました。決定打もなく、減少に歯止めをかけることが出来ない現状ですが、令和5年度は、大東高等学校はスローガンとして「Well-Being～生徒・教職員が希望を持って集う学校へ」と重点目標を明確にされ、この目標達成のための戦略が示されました。その中に、島根県立大学との連携による教育の充実が掲げられていますが、探究学習をはじめ生徒の皆さんのキャリア形成に高大連携の成果を期待しています。

八雲会としては、県立大学との連携・協働による大東高等学校の教育の魅力化を支援していきたいと思います。

生徒数の減少というピンチをチャンスとして捉え、少数精鋭、文武両道を大東高等学校の特色とし、他校との差別化を図ることは、決して不可能なことではありません。こうした中で、生徒の皆さんも頑張っています。24年ぶりに男子バレーボール部、2年ぶりにソフトボール部が北海道で開催された全国高校総体(インターハイ)に出場し、また、県総体では、Bグループで男女総合2位の素晴らしい成績となりました。

八雲会では、生徒の皆さんの健闘ぶりに、各支部の皆様の温かい支援活動をしていただき、ご寄付をいただきました皆様の熱い思いが、生徒の皆さんの大きな励ましとなりました。

4年ぶりに八雲会の総会や広島支部総会が開催され、皆様の母校へ熱い思いが変わらないことを確信いたしました。

こうした機運を高め、「急がず、焦らず、諦めず」大東高等学校の魅力化に向って、一丸となって歩んでいきましょう。



生徒・教職員が 希望を持って集う学校へ

校長 陶山 裕史

八雲会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対しまして、物心両面にわたり心温まるご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの制限の中で教育活動を行ってまいりましたが、今年度は約3年ぶりに通常教育活動が行えるようになりました。コロナ禍前の活動を復活させる中で、丁寧に見直しをしながら新しい取り組みを入れ、さらに充実した学校教育の場になるよう努めております。

本年度、本校では新入生68名を迎え入れて、また1名の「地域みらい留学365生（高2単年度留学生）」も加わり、全校生徒230名でスタートいたしました。少子化が進み地域の環境が大きく変化する中で、今年度の新入生の定員充足率は56.6%と大きな定員割れの状態が続いています。このことは、本校の最重要課題として、県教委をはじめ雲南市や関係各団体、地域の方々のご意見もいただきつつ、今後の対応を検討しながら教育の充実とさらなる魅力化を進めているところです。今年度は近隣小中学校との交流や島根県立大学との連携にも力を入れるとともに、「しまね留学」や県内各地からの入学者を受け入れるための寄宿舎等についても、雲南市の協力を得ながら環境整備を進めています。

現在、大東高校では、①人とつながることができる、人間力を身につけた生徒、②学んだことを、つなげることができる学力を身につけた生徒、③自分と地域の未来を、つむぐことができる社会力を身につけた生徒、を「育てたい生徒像」として掲げ、育成することをめざしています。学校教育では、これからの変化の激しい時代に対応した「生きる力」を身につけさせることが求められていますが、そのためには、生徒の主体性を育

み、自ら考えて判断し、行動することができる環境づくりが必要です。本校では雲南市の協力を得ながら、雲南式探究による地域課題解決型学習など地域と連携した教育活動にも力を入れていきます。これは、生徒の進路決定にも大きな効果を及ぼしており、大学入試における総合型選抜や学校推薦型選抜で合格を勝ち取る生徒の割合も徐々に増えてきました。

さらに本年度は、「Well-Being～生徒・教職員が希望を持って集う学校へ～」というスローガンのもとで、個々の生徒にしっかりと寄り添った教育活動を目指しています。生徒一人一人が様々な場面で主役になれること、教職員が生徒一人一人に目を向けやすいことが、今の東大高校の良いところであると考え、一人一人の生徒を大切にする教育を進めています。

部活動においても、これまでの伝統を引き継ぎながら成果を上げてきています。本年度の島根県高校総体では、男子バレーボール部が24年ぶりの優勝を果たし、また女子ソフトボール部も2年ぶりに優勝し、北海道で開催された全国高校総体（インターハイ）に出場いたしました。剣道部、空手道部なども、県内大会で上位進出し中国大会への出場権を得るなど活躍しています。

大東高校の生徒たちは先達の築いた伝統をしっかりと受け継ぎ、一生懸命に頑張りをしながら充実した学校生活を送っています。私たち教職員は八雲会や地域の皆様のご支援を得ながら、未来を生きる生徒たちのためにより良い教育環境を構築し、安心して学校で学べ、だれ一人取り残すことなく、すべての生徒が希望を持って集う学校をめざして精進してまいりたいと思います。今後とも本校の教育振興のために変わらぬお力添えを賜いますようお願い申し上げます。

Activity report in HIROSHIMA

令和
5年

八雲会広島支部総会の報告

広島支部 支部長
佐藤 眞



八雲会広島支部は令和5年度総会を7月22日（土）、八雲会本部から土江会長、松村事務局長（教頭先生）お迎えし広島市中区のロイヤルパークホテルに於いて開催しました。

コロナ禍のため4年振りの総会、また常宿であったホテルニューヒロデンの廃業に伴い会場を変更したにもかかわらず広島市及びその近郊から会員13名の方々の参加がありました。

総会に先立ち、ホテルが京橋川のほとりにあることから、記念写真撮影を従来の室内から飛び出し、ホテル前の河畔で行いました。今までとは違った雰囲気を感じたと思います。

渡部幹事の司会で総会は始まり、佐藤眞支部長から開会にあたり「4年ぶりの開催です。こうして皆様に再会でできうれしく思います。また総会が再開できたことに感謝申し上げます。今日は久しぶりに飲み交わしましょう。そして語り合しましょう。そしてまた来年この時期に、皆さんと元気に再会できますよう祈念します。」との挨拶があり、続いて本部からご出席頂いた土江会長、松村教頭先生から「広島支部総会おめでとうございます。再開されたことに心から敬意を表します。招待有難うございました。」とそれぞれご挨拶を頂きました。

続いて議事に入り支部の令和2年度～4年度までの決算報告が満場一致で承認されました。決算報告の後、高8期の稲田幸夫さんの乾杯の音頭で懇親会に入りました。

4年振りの出会いで賑かに会話が進むなか、高

17期の三島幹事の進行で参加者からの近況報告を頂き、特に土江会長からは、スライドを用い、大東高校の抱えている喫緊課題それは生徒数の減少でこのままでは教育の充実化、部活動活性化が大きく脅かされる。それに対しどのような取り組みが必要なのか、高校の魅力化には、八雲会の役割は、などと熱っぽく語られました。

松村教頭先生からは部活動報告がなされ、男子バレーボール、女子ソフトボールがインターハイに出場するなど各部それぞれ大健闘しているとの報告がありました。

懇親会も最終局面に入り、参加者一同、校歌、応援歌を二度三度合唱しそれぞれ若かりし頃を思い出し語り合い賑やかで和やかな支部総会でありました。

高17期の黒川暘右さんが「来年はこの会の参加者をぜひ倍にしましょう。そして必ずお会いしましょう。」と再会を約束し総会は終了しました。

来年も盛会に開催することを約束し散会しましたが、広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。会員も平成30年末現在約190名登録されていますが、平成15年（高51期）卒業生以降新規の登録はありません。この空白を少しでも埋め会員数を増やし活性化させることが急務です。このため皆様の親戚、先輩、後輩、同窓会等から会員を発掘し紹介ください。

会員数拡大のため皆様の一層の協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

八雲会

令和4年度事業報告

令和5年度事業計画

令和4年度 事業報告

平成4年

4月20日(水) 第1回校内幹事会(役割分担等)

4月26日(火) 監査会(R3年度決算)

5月24日(火) 役員会

7月2日(土) 八雲会総会(中止)

10月 会報「八雲」第59号発刊

11月14日(月) 久野支部会

11月18日(金) 佐世支部会

11月22日(火) 海潮支部会

11月27日(日) 春殖支部会

11月30日(水) 大東支部会

令和5年

1月22日(日) 阿用支部会

1月23日(月) 加茂支部会

2月15日(水) 第2回校内幹事会(入会式)

2月22日(水) 幡屋支部会

2月28日(火) 第75期八雲会入会式

令和5年度 事業計画(案)

令和5年

4月17日(月) 第1回校内幹事会(役割分担等)

5月2日(火) 監査会(R4年度決算)

6月7日(水) 役員会

6月9日(金) 第2回校内幹事会(総会)

7月1日(土) 八雲会総会

7月9日(日) 阿用支部会

7月22日(土) 広島支部会

10月 会報「八雲」第60号発刊

月 日() 関東支部会

月 日() 関西支部会

月 日() 大東支部会

月 日() 春殖支部会

月 日() 幡屋支部会

月 日() 佐世支部会

月 日() 海潮支部会

月 日() 久野支部会

月 日() 塩田支部会

月 日() 加茂支部会

月 日() 穴道支部会

月 日() 木次支部会

(コロナウィルスの感染状況により、
日程変更や中止の場合があります)

令和6年

2月 日() 第3回校内幹事会(入会式)

2月29日(木) 第76期八雲会入会式



令和4年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
入 会 金	729,000	728,700	▲ 300	年額3,000円
繰 越 金	1,333,703	1,333,703	0	前年度繰越金
寄 付 金	500,000	565,000	65,000	寄付金
雑 収 入	17	12	▲ 5	預金利息
合 計	2,562,720	2,627,415	64,695	

2. 支出の部

(単位：円)

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
総 務 費	560,000	90,456	▲ 469,544	
会 議 費	230,000	2,649	▲ 227,351	役員会
旅 費	200,000	0	▲ 200,000	
通 信 費	30,000	23,429	▲ 6,571	郵券代
事 務 費	50,000	37,912	▲ 12,088	振替払込用紙印字サービス料、寄付金払込みの際の払込手数料
管 理 費	50,000	26,466	▲ 23,534	会員登録、データ管理等
事 業 費	1,120,000	756,148	▲ 363,852	
八雲発行費	650,000	590,228	▲ 59,772	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	140,000	▲ 280,000	加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、海潮、久野の各支部
入 会 式	50,000	25,920	▲ 24,080	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑 費	30,000	8,000	▲ 22,000	慶弔費
予 備 費	852,720	0	▲ 852,720	
合 計	2,562,720	854,604	▲ 1,708,116	

(収入総額) 2,627,415円

(支出総額) 854,604円

(差引残額) 1,772,811円・・・令和5年度へ繰越

特別会計(積立)決算書

令和3年度末残額	5,445,524円
令和4年度利息	46円
令和4年度末残額	5,445,570円

令和5年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入 会 金	687,000	729,000	▲ 42,000	年額3,000円×229名
繰 越 金	1,772,811	1,333,703	439,108	前年度繰越金
寄 付 金	500,000	500,000	0	寄付金
雑 収 入	189	17	172	預金利息等
合 計	2,960,000	2,562,720	397,280	

2. 支出の部

(単位：円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
総 務 費	730,000	560,000	170,000	
会 議 費	300,000	230,000	70,000	役員会、総会費
旅 費	300,000	200,000	100,000	支部会出席等旅費
通 信 費	30,000	30,000	0	郵券等
事 務 費	50,000	50,000	0	事務用品、振替払込用紙印字代等
管 理 費	50,000	50,000	0	会員登録、データ管理等
事 業 費	1,420,000	1,120,000	300,000	
八雲発行費	650,000	650,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	420,000	0	関東、関西、広島、松江、加茂、木次、宍道、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入 会 式	50,000	50,000	0	入会記念品(卒業証書入用筒)
魅力化充実費	300,000	0	300,000	高大連携推進費
雑 費	30,000	30,000	0	
予 備 費	780,000	852,720	▲ 72,720	
合 計	2,960,000	2,562,720	397,280	

特別会計(積立)予算書

令和4年度末残額	5,445,570円
令和5年度利息	30円
令和5年度末残額	5,445,600円

「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

1. 寄付状況

◇総額：575,447円 ◇振込人数 117人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 1 / 福島 1 / 埼玉 2 / 東京 11 / 千葉 2 / 神奈川 2 / 愛知 4 / 大阪 13 / 京都 3
奈良 1 / 兵庫 4 / 岡山 1 / 広島 10 / 山口 1 / 鳥取 2 / 島根 56 / 愛媛 1 / 福岡 1 / その他 1

◇口別寄付状況（人） 1口1,000円

1口/22 2口/13 3口/34 5口/27 10口/18 30口以上/3

2. 寄付者芳名録

（期順、敬称略）※令和4年9月1日～令和5年8月31日

振込回数により、氏名の重複があります。

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
高女7	西藤 洋子	東京	高13	谷水 規子	鳥取	高21	奥津 正江	岡山
実女2	山根 松代	島根	高定13	三島 修	京都	高22	斉藤 鈴子	愛知
高3	矢野 操子	大阪	高14	永井 誠	大阪	高22	中村 淳	大阪
高3	藤間 照子	神奈川	高14	錦織 涿郎	島根	高22	原 幸生	大阪
高3	勝部美保子	島根	高14	小山 義弘	島根	高22	吉岡 祥治	島根
高3	田中 潤子	島根	高15	坂本 美恵	島根	高22	高橋 敬二	島根
高5	藤本 浩子	大阪	高15	高島 節郎	東京	高23	小山 勉	大阪
高5	長富 暁子	東京	高16	安部 直子	愛知	高23	土谷 清治	島根
高5	藤原 義正	兵庫	高16	長谷川 亨	島根	高23	朝山 孝子	島根
高5	狩野 彰彦	広島	高16	上代 雅躬	島根	高23	細田奈美江	島根
高5	織部5期の会	その他	高16	渡部 剛	広島	高23	岩田 麗子	島根
高6	永田 泰弘	東京	高17	山崎 善吉	愛知	高23	簾 洋一	広島
高7	森 修司	大阪	高17	藤原 恵	愛媛	高23	門脇 文雄	北海道
高7	佐々木 正夫	京都	高17	佐々木ハツコ	神奈川	高24	長妻 幸宏	島根
高7	山城玖美子	島根	高17	永田美恵子	島根	高24	狩野 恵子	島根
高7	野々村 学	東京	高17	奥原 稔	島根	高24	長妻 幸宏	島根
高7	平野 栄子	広島	高17	岡田 幹雄	島根	高24	池田智恵子	鳥取
高8	土井 進	大阪	高17	錦織 一夫	島根	高24	福間 功	広島
高8	藤原 和夫	島根	高17	原 幸男	島根	高25	鶴原 憲治	島根
高8	瀧 清	島根	高17	森山 綾子	島根	高26	原 泰夫	千葉
高8	加納 武夫	福島	高17	深田 陽二	島根	高28	西村佐智子	島根
高家9	石原 道子	東京	高17	瀧 和子	島根	高28	西村 馨	島根
高10	田中 力	大阪	高17	竹村 恵子	島根	高30	森田 裕子	愛知
高10	山崎久美子	埼玉	高17	斉藤 和子	東京	高30	田中 幸	島根
高10	高橋 潮	奈良	高17	加納 昭	兵庫	高30	嘉本 伸一	島根
高10	岡田 邦雄	広島	高18	別所 俊子	島根	高30	足立 瑞枝	島根
高10	森 龍治	広島	高18	藤田マスミ	大阪	高30	狩野 雄作	兵庫
高11	錦織 武久	大阪	高18	福本 亨	埼玉	高30	原 伸二	広島
高11	伊元 一枝	大阪	高18	土江 博昭	島根	高32	西村 隆正	島根
高11	井上 映子	島根	高18	別所 俊子	島根	高32	高橋 浩三	島根
高11	藤原 英好	島根	高18	青木 愛治	島根	高32	佐藤 博芳	東京
高11	武田 明	東京	高18	土江 博昭	島根	高32	山根 陽二	兵庫
高12	小早川貞夫	島根	高18	足立美智子	千葉	高33	金森 正	大阪
高12	小早川喜美子	島根	高18	鮎川 純子	山口	高35	石川千登勢	東京
高12	野津 克彦	島根	高19	郷原 保男	島根	高36	中島 俊光	京都
高12	土谷 武盛	島根	高19	蘆田 信夫	島根	高36	藏田 順子	福岡
高定12	佐藤 和紀	広島	高19	今岡 光範	広島	高39	門脇 康文	島根
高13	田形 満雄	島根	高20	横山 美昭	島根	高45	舟木 勝俊	島根
高13	坂野 遂子	東京	高20	横山 美昭	島根	高66	野々村優介	島根

本人死去によるご家族の寄付あり

振込方法

専用払込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。
一口1,000円から受け付けていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行 ※通帳またはキャッシュカードを利用し、口座から払込む場合は手数料はかかりません。
※現金で払い込む場合は110円加算されます。

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

◆その他 ・卒業生のお名前でお振り込みください。（ご家族の方等が振り込まれる場合も）
・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
・振込期限はありません。（随時受付をしています）

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は
下記内容をご指定ください。
振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イサナク) 店(139)
預金種目：当座
口座番号：0103127

令和4年度～令和5年度 八雲会役員一覧

役職	氏 名	期	役職	氏 名	期
顧問	安原 重隆	高11	副会長	陶山 裕史	校長
会長	土江 博昭	高18		狩野 健吉	高18
副会長	太田多美子	高13	監 事	石川 辰子	高23
	岸本 邦夫	高19		狩野 恵子	高24

【理 事】

地区	氏 名	期	地区	氏 名	期
大東	青木 愛治	高18	塩田	新田 国善	高27
	光谷由紀子	高18	加茂	岸本 邦夫	高19
	安部 幸治	高24		永瀬 敬治	高23
春殖	横山 美昭	高20		高橋 雄二	高32
	小川 茂之	高29		畑 宏明	高29
幡屋	森山 武史	高25	木次	吉岡 敏隆	高27
	赤名 秋夫	高26		佐藤 隆司	高31
佐世	錦織 一夫	高17	穴道	細木 弘志	高32
	高橋 敬二	高22		渡部 清美	高27
阿用	永瀬 康典	高18	松江	休	
	陶山 隆之	高17		会	
	矢壁 正弘	高28	広島	佐藤 真	高17
	安部万里子	高28		富久 禮識	高6
久野	上代 英治	高29		佐藤 和紀	高12
	長妻 賢二	高32	関西	広木 益夫	高16
	三澤 郁穂	高35	関東	鏑木 茂雄	高32
海潮	福間 廣明	高20		持田 啓司	高32
	佐々木 徹	高23			
	宮川 稔	高27			

【大東高等学校事務局】

事務局長 松村 茂樹 (教頭)	幹 事 上野城将志 (高51)
幹 事 長 松村 茂樹 (高43)	幹 事 加藤 宏明 (高57)
幹 事 有田 修 (事務長)	幹 事 小山美紀子
幹 事 門脇 康文 (高39)	幹 事 鳥谷 祐子 (高34)
幹 事 藤原 智美 (高48)	

よろしくお願いします。



大東高校公式 **facebook** も
ご覧ください。

【代議員】

令和5年9月20日 現在

地区	氏 名	期	地区	氏 名	期
大東	小山 益男	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	福間久仁子	高22	広島	渡部 剛	高16
	早川 光幸	高24		三島 暁子	高17
春殖	糸原 優二	高33	関西	小山 勉	高23
	田中 久志	高33	関東	佐藤 博芳	高32
幡屋	郷原 辰雄	高22	【八雲会支部長】 大東支部 青木 愛治 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 一夫 阿用支部 永瀬 康典 久野支部 上代 英治 海潮支部 福間 廣明 塩田支部 新田 国善 加茂支部 岸本 邦夫 木次支部 佐藤 隆司 穴道支部 渡部 清美 松江支部 広島支部 佐藤 真 関西支部 広木 益夫 関東支部 鏑木 茂雄		
	舟木 忠夫	高24			
	武田 良伸	高32			
	田中 互	高37			
佐世	安部 博	高18			
	鶴原 憲治	高25			
阿用	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
	安井 修	高25			
久野	福間 美博	高34			
海潮	山根 和幸	高25			
	岩田 和義	高19			
	佐藤 正範	高32			
	藤原 英二	高37			
塩田	安達 隆重	高42			
加茂					
木次	上野城保明	高49			
穴道	佐藤 和彦	高32			



編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、
ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力を
いただきました。
心よりお礼申し上げます。



大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512
E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp
ホームページ <https://www.daito-h.ed.jp/>